



なかしん

景況レポート



No.163

2025 年 秋
中兵庫信用金庫
経営企画部

第 163 回 なかしん中小企業景気動向調査

(2025 年 9 月)

当金庫では、四半期ごとに景気の状態を知る一助として、お取引先のご協力により景気動向調査を実施しております。以下は、2025 年 9 月を調査時点とする 2025 年度第 2 四半期(2025 年 7 月～9 月)実績(9 月は予想)、及び 2025 年度第 3 四半期(2025 年 10 月～12 月)見通しについての調査結果です。

経営者の方々をはじめ、皆さまのご参考になれば幸いです。

調 査 時 点	2025 年 9 月
調 査 対 象	中兵庫信用金庫お取引先 [別表 1]
調 査 方 法	聞き取り法
依 頼 先 数	410 先
有効回答数	400 先 (回答率 97.5%)
そ の 他	この調査における景気判断の基準として、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index、略して DI、拡散指数という)による方法を採用しています。 これは、生産・販売・在庫・収益等について前期に比較して、(A)増加(あるいは「上昇」)(B)変らず、(C)減少(あるいは「下降」)のいずれかに回答していただき、この(A)(B)(C)の回答割合(%)のうち(A)から(C)を差し引いた値(DI)を時系列的に観察することによって景況をみる方法です。

[別表 1] 業 種 別 構 成

業 種	依頼数	回答数
製 造 業	104	103
卸 売 業	36	35
小 売 業	98	94
サービス業	68	66
建 設 業	75	74
不 動 産 業	29	28
合 計	410	400

[調査地域]

丹波市・丹波篠山市・三田市
西脇市・多可郡・加東市
三木市・小野市
神戸市・西宮市北部
福知山市

連絡先 〒669-1321 三田市けやき台 1-4-3 ☎ 079-569-7153

中兵庫信用金庫 経営企画部 広報課

景気の状態について

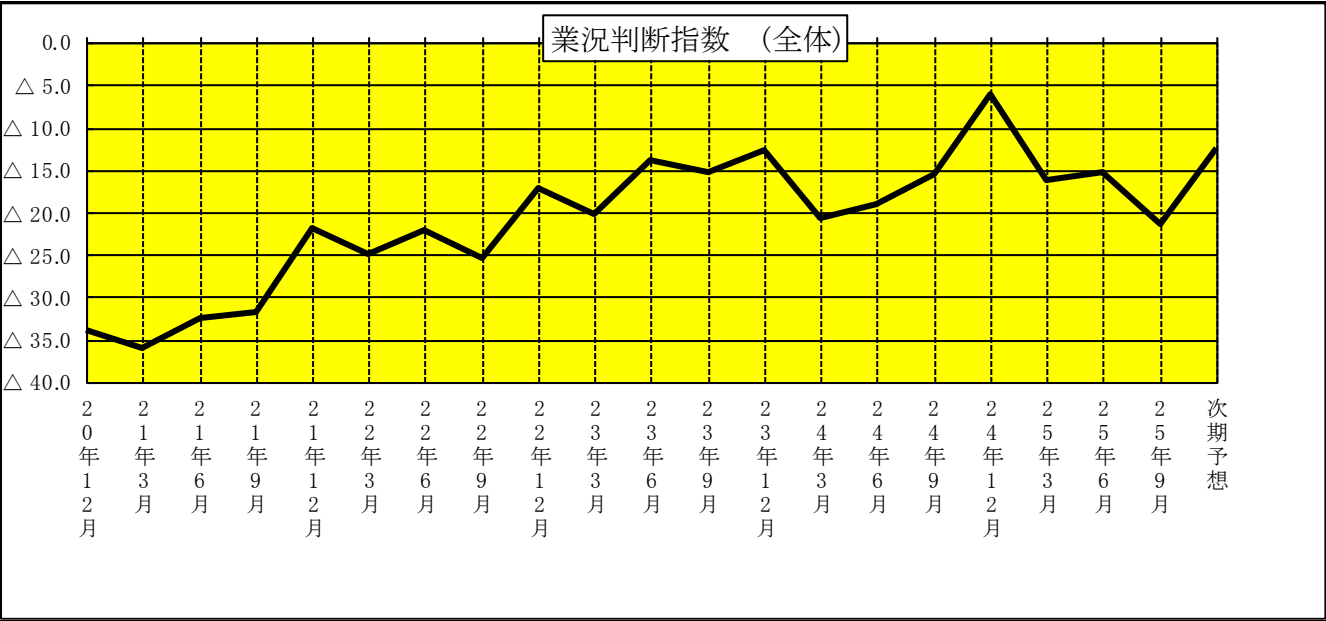
1. 総合的景況判断

業況の推移

調査時点	変 動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)
2024年	7～9月	9.6	65.2	25.2	△ 15.6
2024年	10～12月	16.2	61.5	22.3	△ 6.1
2025年	1～3月	12.4	59.0	28.6	△ 16.2
2025年	4～6月	11.9	60.9	27.2	△ 15.3
2025年	7～9月	8.1	62.3	29.6	△ 21.5
見通し	10～12月	10.9	65.7	23.4	△ 12.5

業種別業況(2025年7月～9月)

業 種	変 動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)	次回予想	
						前回調査比	今回調査比
製 造 業		11.8	59.8	28.4	△ 16.6	△ 4.7	△ 11.8
非 製 造 業		6.8	63.2	30.0	△ 23.2	△ 6.7	△ 12.6
(卸 売 業)		5.9	76.5	17.6	△ 11.7	11.9	△ 14.7
(小 売 業)		4.3	54.8	40.9	△ 36.6	△ 3.7	△ 26.9
(サービス業)		12.1	65.2	22.7	△ 10.6	△ 4.1	4.6
(建 設 業)		5.6	68.0	26.4	△ 20.8	△ 14.1	△ 9.9
(不 動 産 業)		7.1	57.2	35.7	△ 28.6	△ 24.9	△ 10.7
全 体		8.1	62.3	29.6	△ 21.5	△ 6.2	△ 12.5



○今 期

今期（2025 年 7 月～9 月期）の景況をみると、業況 D I は前回調査比で 6.2 ㊦減少の $\Delta 21.5$ と悪化した。

業種別でみると、卸売業で 11.9 ㊦増加と改善し、不動産業で 24.9 ㊦、建設業で 14.1 ㊦、製造業で 4.7 ㊦、サービス業で 4.1 ㊦、小売業で 3.7 ㊦減少と悪化した。

○次期予想

次期予想について、業況 D I は今回調査比で 9.0 ㊦増加の $\Delta 12.5$ と改善する見通しである。

業種別でみると、不動産業で 17.9 ㊦、サービス業で 15.2 ㊦、建設業で 10.9 ㊦、小売業で 9.7 ㊦、製造業で 4.8 ㊦増加と改善する見通しで、卸売業で 3.0 ㊦減少と悪化する見通しである。

業種別業況判断

① 製造業

業況D Iは前回調査より 4.7 ㊦減少の△16.6、売上額D Iは7.9 ㊦減少の△1.9、収益D Iは4.0 ㊦減少の△3.0と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況D Iは 4.8 ㊦増加の△11.8 と改善する見通し、売上額D Iは6.0 ㊦減少の△7.9、収益D Iは0.9 ㊦減少の△3.9 と悪化する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'24年9月	'24年12月	'25年3月	'25年6月	'25年9月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 13.8	2.9	△ 24.5	△ 11.9	△ 16.6	△ 4.7	△ 11.8	4.8
売上額DI	△ 6.8	10.7	△ 21.7	6.0	△ 1.9	△ 7.9	△ 7.9	△ 6.0
収益DI	△ 10.8	6.8	△ 28.7	1.0	△ 3.0	△ 4.0	△ 3.9	△ 0.9



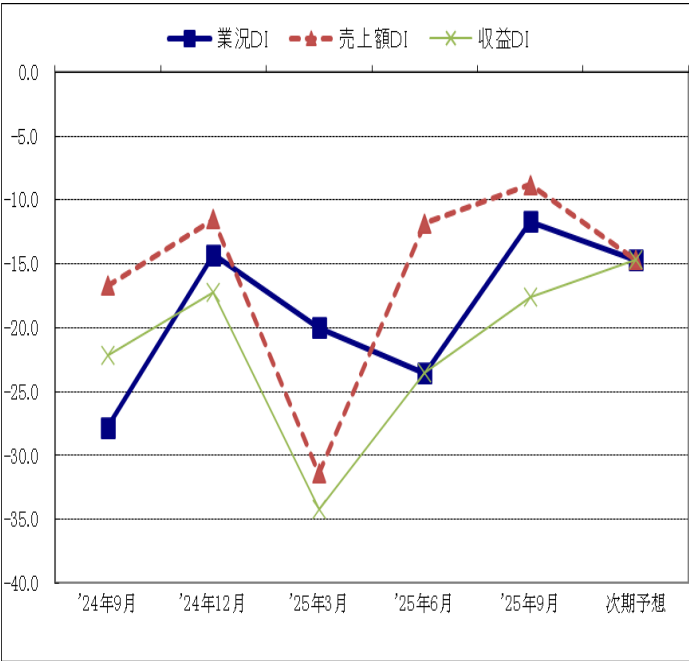
② 卸売業

業況D Iは前回調査より 11.9 ㊦増加の△11.7、売上額D Iは 3.0 ㊦増加の△8.8、収益D Iは 6.0 ㊦増加の△17.6 と全てにおいて改善した。

次期予想では、業況D Iは 3.0 ㊦減少の△14.7、売上額D Iは 5.9 ㊦減少の△14.7 と悪化する見通し、収益D Iは 2.9 ㊦増加の△14.7 と改善する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'24年9月	'24年12月	'25年3月	'25年6月	'25年9月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 27.8	△ 14.3	△ 20.0	△ 23.6	△ 11.7	11.9	△ 14.7	△ 3.0
売上額DI	△ 16.7	△ 11.5	△ 31.4	△ 11.8	△ 8.8	3.0	△ 14.7	△ 5.9
収益DI	△ 22.2	△ 17.2	△ 34.2	△ 23.6	△ 17.6	6.0	△ 14.7	2.9



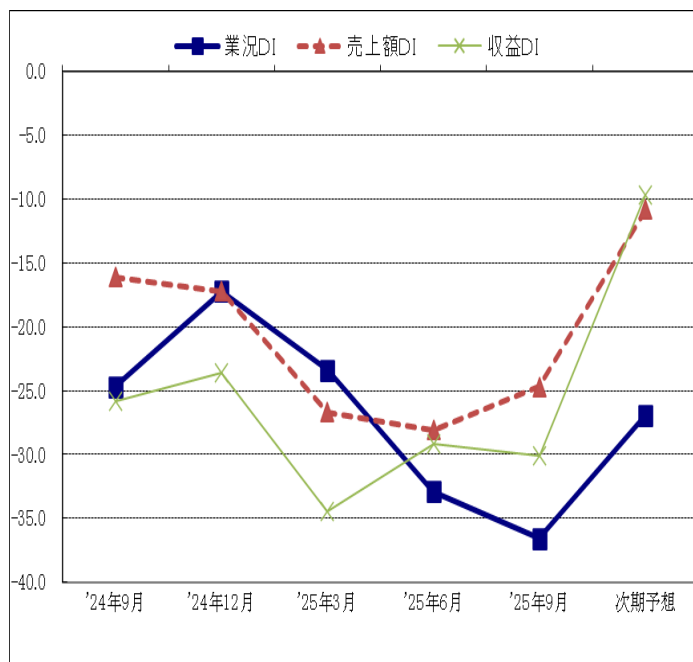
③ 小売業

業況DIは前回調査より 3.7 ㊦減少の△36.6 と悪化、売上額DIは 3.4 ㊦増加の△24.7 と改善、収益DIは 0.9 ㊦減少の△30.1 と悪化した。

次期予想では、業況DIは 9.7 ㊦増加の△26.9、売上額DIは 13.9 ㊦増加の△10.8、収益DIは 20.4 ㊦増加の△9.7 と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'24年9月	'24年12月	'25年3月	'25年6月	'25年9月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 24.7	△ 17.2	△ 23.4	△ 32.9	△ 36.6	△ 3.7	△ 26.9	9.7
売上額DI	△ 16.1	△ 17.2	△ 26.7	△ 28.1	△ 24.7	3.4	△ 10.8	13.9
収益DI	△ 25.8	△ 23.6	△ 34.5	△ 29.2	△ 30.1	△ 0.9	△ 9.7	20.4



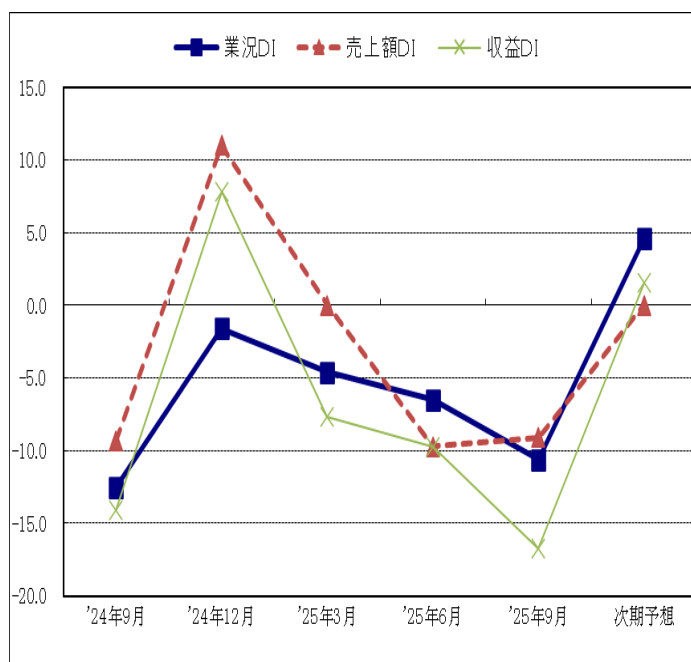
④ サービス業

業況DIは前回調査より 4.1 ㊦減少の△10.6 と悪化、売上額DIは 0.6 ㊦増加の△9.1 と改善、収益DIは 7.0 ㊦減少の△16.7 と悪化した。

次期予想では、業況DIは 15.2 ㊦増加の 4.6、売上額DIは 9.1 ㊦増加の±0、収益DIは 18.3 ㊦増加の 1.6 と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'24年9月	'24年12月	'25年3月	'25年6月	'25年9月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 12.5	△ 1.6	△ 4.6	△ 6.5	△ 10.6	△ 4.1	4.6	15.2
売上額DI	△ 9.3	11.0	0.0	△ 9.7	△ 9.1	0.6	0.0	9.1
収益DI	△ 14.1	7.8	△ 7.7	△ 9.7	△ 16.7	△ 7.0	1.6	18.3



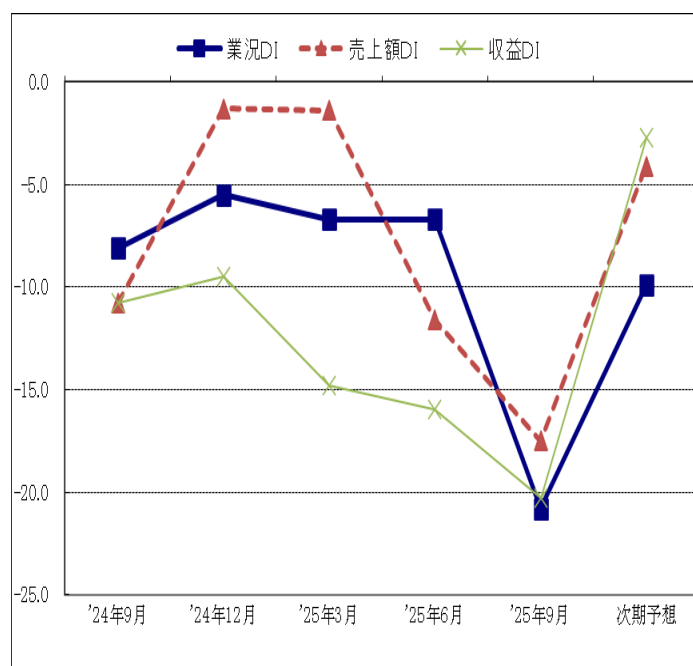
⑤ 建設業

業況D Iは前回調査より 14.1 ㇿ減少の△20.8、売上額D Iは 5.9 ㇿ減少の△17.5、収益D Iは 4.3 ㇿ減少の△20.3 と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況D Iは 10.9 ㇿ増加の△9.9、売上額D Iは 13.4 ㇿ増加の△4.1、収益D Iは 17.6 ㇿ増加の△2.7 と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'24年9月	'24年12月	'25年3月	'25年6月	'25年9月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 8.1	△ 5.5	△ 6.7	△ 6.7	△ 20.8	△ 14.1	△ 9.9	10.9
売上額DI	△ 10.8	△ 1.3	△ 1.4	△ 11.6	△ 17.5	△ 5.9	△ 4.1	13.4
収益DI	△ 10.8	△ 9.5	△ 14.8	△ 16.0	△ 20.3	△ 4.3	△ 2.7	17.6



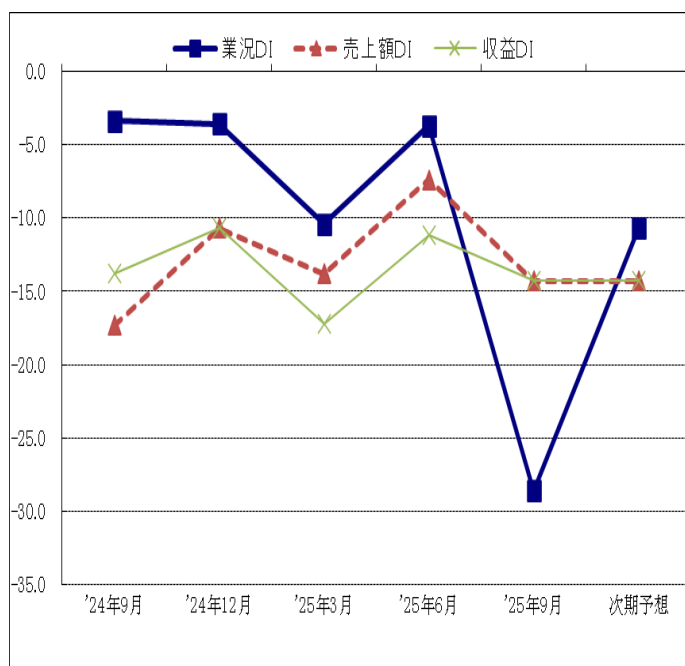
⑥ 不動産業

業況D Iは前回調査より 24.9 ㇿ減少の△28.6、売上額D Iは 6.9 ㇿ減少の△14.3、収益D Iは 3.2 ㇿ減少の△14.3 と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況D Iは 17.9 ㇿ増加の△10.7 と改善する見通し、売上額D Iは変わらず±0 の△14.3、収益D Iは変わらず±0 の△14.3 と変動なしの見通しある。

主要DIの推移

年 月	'24年9月	'24年12月	'25年3月	'25年6月	'25年9月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 3.4	△ 3.6	△ 10.4	△ 3.7	△ 28.6	△ 24.9	△ 10.7	17.9
売上額DI	△ 17.3	△ 10.7	△ 13.8	△ 7.4	△ 14.3	△ 6.9	△ 14.3	0.0
収益DI	△ 13.8	△ 10.7	△ 17.2	△ 11.1	△ 14.3	△ 3.2	△ 14.3	0.0



2. 売上状況

売上状況は、前回調査に比べ、「増加」とする企業が0.8 ㊦減少し、「減少」とする企業は1.8 ㊦増加したことから、D Iは2.6 ㊦減少の△12.9と悪化した。

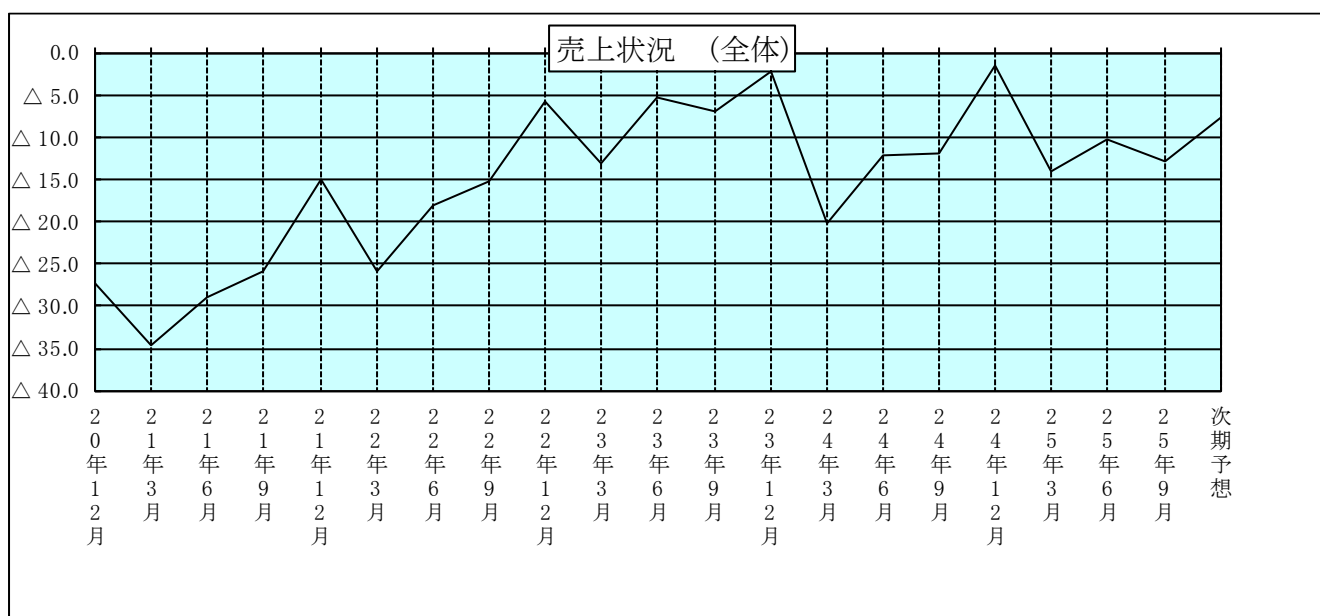
次回予想D Iは5.3 ㊦増加の△7.6と改善する見通しである。

売上状況の推移

調査時点	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)
2024年	7～9月	14.6	59.0	26.4	△ 11.8
2024年	10～12月	20.2	58.1	21.7	△ 1.5
2025年	1～3月	15.2	53.8	31.0	△ 15.8
2025年	4～6月	15.4	58.9	25.7	△ 10.3
2025年	7～9月	14.6	57.9	27.5	△ 12.9
	前回調査比	△ 0.8	△ 1.0	1.8	△ 2.6
見通し	10～12月	14.1	64.2	21.7	△ 7.6
	今回調査比	△ 0.5	6.3	△ 5.8	5.3

業種別売上状況(2025年7月～9月)

業 種	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		20.6	56.9	22.5	△ 1.9	6.0	△ 7.9
卸 売 業		14.7	61.8	23.5	△ 8.8	△ 11.8	△ 14.7
小 売 業		10.8	53.7	35.5	△ 24.7	△ 28.1	△ 10.8
サ ー ビ ス 業		13.6	63.7	22.7	△ 9.1	△ 9.7	0.0
建 設 業		12.2	58.1	29.7	△ 17.5	△ 11.6	△ 4.1
不 動 産 業		14.3	57.1	28.6	△ 14.3	△ 7.4	△ 14.3
全 体		14.6	57.9	27.5	△ 12.9	△ 10.3	△ 7.6



3. 収益状況

収益状況は、前回調査に比べ、「増加」とする企業は 2.1 ㊦減少し、「減少」とする企業は 1.0 ㊦増加したことから、D I は 3.1 ㊦減少し△16.9 と悪化した。

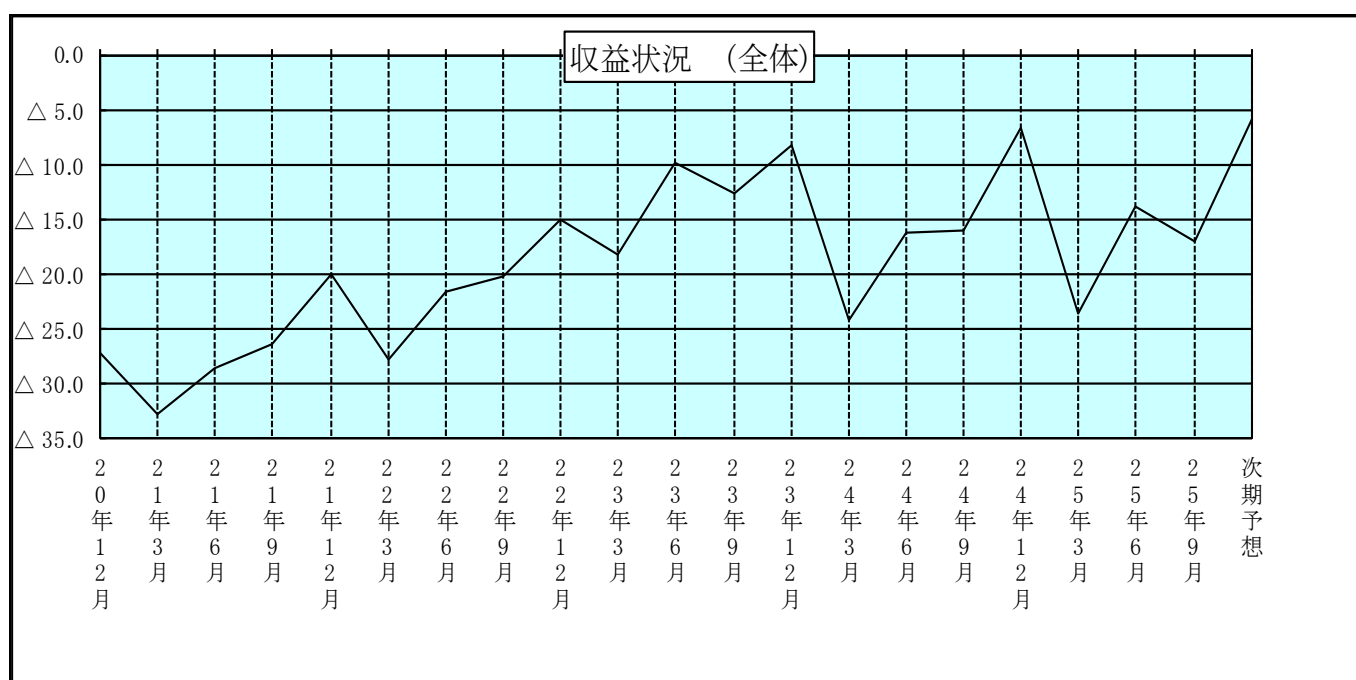
次回予想 D I は 11.0 ㊦増加の△5.9 と改善する見通しである。

収 益 状 況 の 推 移

調査時点	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)
2024年	7～9月	10.1	63.8	26.1	△ 16.0
2024年	10～12月	17.4	58.6	24.0	△ 6.6
2025年	1～3月	11.4	53.6	35.0	△ 23.6
2025年	4～6月	13.9	58.4	27.7	△ 13.8
2025年	7～9月	11.8	59.5	28.7	△ 16.9
	前回調査比	△ 2.1	1.1	1.0	△ 3.1
見通し	10～12月	14.6	64.9	20.5	△ 5.9
	今回調査比	2.8	5.4	△ 8.2	11.0

業種別収益状況(2025年7月～9月)

業 種	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		18.6	59.8	21.6	△ 3.0	1.0	△ 3.9
卸 売 業		5.9	70.6	23.5	△ 17.6	△ 23.6	△ 14.7
小 売 業		8.6	52.7	38.7	△ 30.1	△ 29.2	△ 9.7
サ ー ビ ス 業		9.1	65.1	25.8	△ 16.7	△ 9.7	1.6
建 設 業		10.8	58.1	31.1	△ 20.3	△ 16.0	△ 2.7
不 動 産 業		14.3	57.1	28.6	△ 14.3	△ 11.1	△ 14.3
全 体		11.8	59.5	28.7	△ 16.9	△ 13.8	△ 5.9



4. 在庫・販売価格・資金繰り状況

○在庫

在庫状況は、前回調査に比べ、「過剰」とする企業が0.8 ㊦減少し、「不足」とする企業が0.4 ㊦増加したことから、D I は1.2 ㊦減少の△1.2 となった。

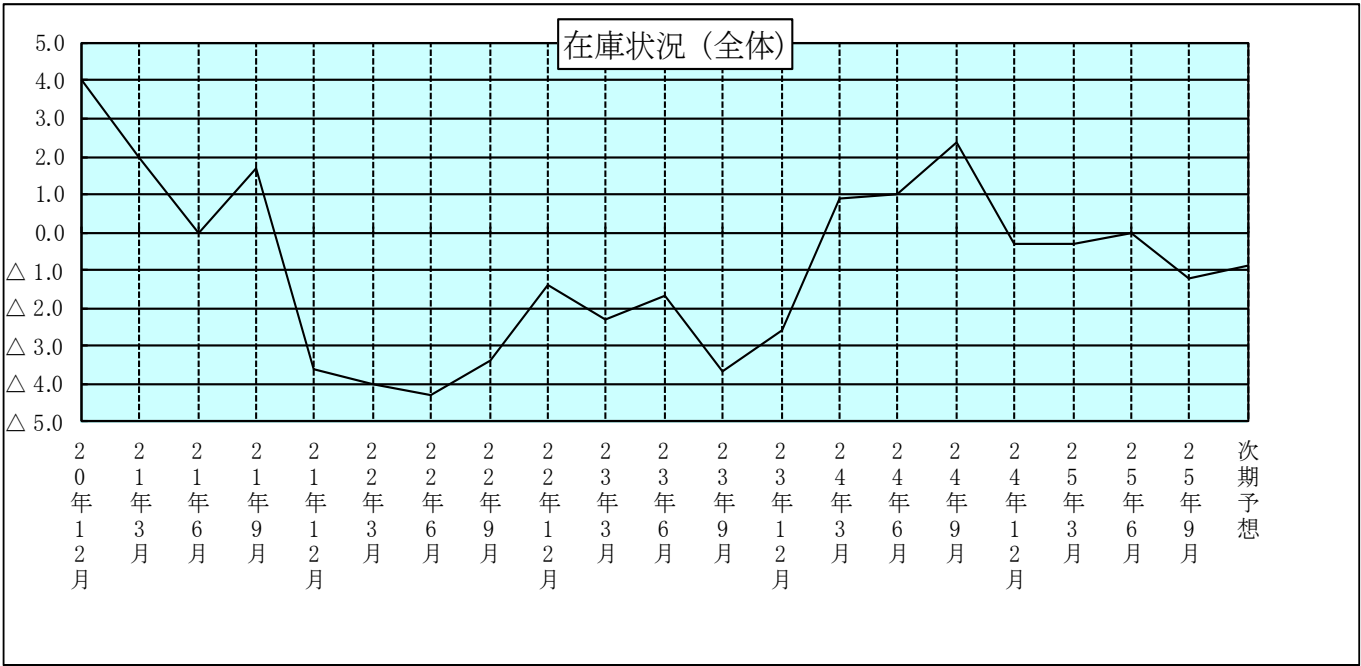
次回予想D I は0.3 ㊦増加の△0.9 となる見通しである。

在庫状況の推移

調査時点		変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
2024年	7～9月		7.5	87.4	5.1	2.4
2024年	10～12月		6.6	86.5	6.9	△ 0.3
2025年	1～3月		7.0	85.7	7.3	△ 0.3
2025年	4～6月		7.5	85.0	7.5	0.0
2025年	7～9月		6.7	85.4	7.9	△ 1.2
	前回調査比		△ 0.8	0.4	0.4	△ 1.2
見通し	10～12月		6.1	86.9	7.0	△ 0.9
	今回調査比		△ 0.6	1.5	△ 0.9	0.3

業種別在庫状況(2025年7月～9月)

業 種	変動	過 剰 A	適 正 B	不 足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		8.8	86.3	4.9	3.9	6.9	2.0
卸 売 業		8.8	85.3	5.9	2.9	3.0	2.9
小 売 業		9.7	78.5	11.8	△ 2.1	△ 3.4	△ 3.3
建 設 業		1.4	94.5	4.1	△ 2.7	△ 3.0	1.4
不 動 産 業		0.0	82.1	17.9	△ 17.9	△ 11.1	△ 14.3
全 体		6.7	85.4	7.9	△ 1.2	0.0	△ 0.9



販売価格は、前回調査に比べ、「上昇」とする企業が 0.8 割減少し、「下降」とする企業が 0.5 割増加したことから、D I は 1.3 割減少の 12.1 となった。

販売価格の推移

調査時点		変 動	上 昇 A	変らず B	下 降 C	D I (A－C)
2024年	7～9月		17.6	76.1	6.3	11.3
2024年	10～12月		19.7	74.5	5.8	13.9
2025年	1～3月		20.2	75.0	4.8	15.4
2025年	4～6月		19.2	75.0	5.8	13.4
2025年	7～9月		18.4	75.3	6.3	12.1
	前回調査比		△ 0.8	0.3	0.5	△ 1.3
見通し	10～12月		18.5	77.9	3.6	14.9
	今回調査比		0.1	2.6	△ 2.7	2.8

業 種 \ 変 動	上 昇 A	変らず B	下 降 C	D I (A－C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業	12.7	83.4	3.9	8.8	14.8	7.9
卸 売 業	17.6	73.6	8.8	8.8	11.7	17.6
小 売 業	29.0	62.4	8.6	20.4	20.2	27.1
サ ー ビ ス 業	16.7	78.8	4.5	12.2	11.3	13.7
建 設 業	17.8	75.4	6.8	11.0	10.3	15.3
不 動 産 業	10.7	82.2	7.1	3.6	0.0	0.0
全 体	18.4	75.3	6.3	12.1	13.4	14.9



○資金繰り状況

資金繰り状況は、前回調査に比べ、「楽」とする企業は 0.9 ㊦減少し、「苦しい」とする企業が 3.5 ㊦減少したことから、D I は 2.6 ㊦増加し△14.4 と改善した。

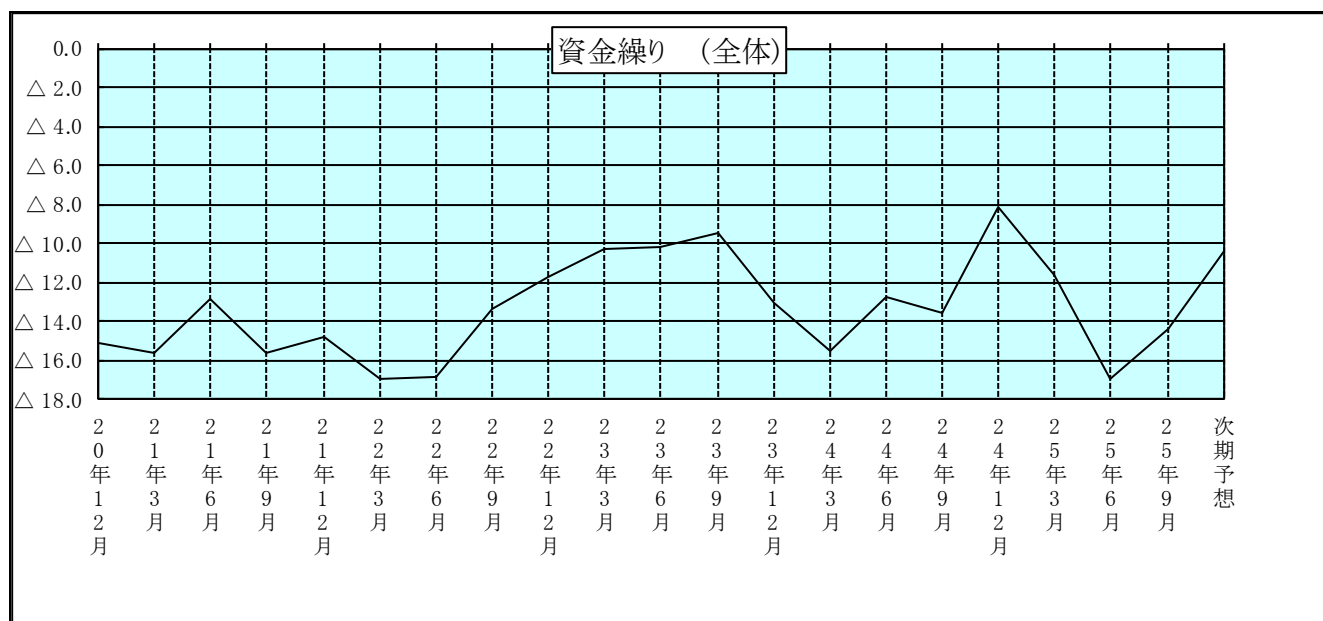
次回予想D I は、4.0 ㊦増加の△10.4 と改善する見通しである。

資 金 繰 状 況 の 推 移

調査時点	変 動	楽 A	変らず B	苦しい C	D I (A-C)
2024年	7～9月	3.0	80.4	16.6	△ 13.6
2024年	10～12月	4.8	82.3	12.9	△ 8.1
2025年	1～3月	3.8	79.7	16.5	△ 12.7
2025年	4～6月	2.9	77.2	19.9	△ 17.0
2025年	7～9月	2.0	81.6	16.4	△ 14.4
	前回調査比	△ 0.9	4.4	△ 3.5	2.6
見通し	10～12月	3.8	82.0	14.2	△ 10.4
	今回調査比	1.8	0.4	△ 2.2	4.0

業種別資金繰り状況 (2025年7月～9月)

業 種	変 動	楽 A	変らず B	苦しい C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		2.9	84.4	12.7	△ 9.8	△ 8.0	△ 4.9
卸 売 業		0.0	82.4	17.6	△ 17.6	△ 20.6	△ 14.7
小 売 業		3.2	73.1	23.7	△ 20.5	△ 27.0	△ 17.4
サ ー ビ ス 業		1.5	87.9	10.6	△ 9.1	△ 14.5	△ 6.1
建 設 業		1.4	81.0	17.6	△ 16.2	△ 17.4	△ 9.6
不 動 産 業		0.0	85.2	14.8	△ 14.8	△ 18.5	△ 14.8
全 体		2.0	81.6	16.4	△ 14.4	△ 17.0	△ 10.4



5. 雇用面の動き

○残業時間

残業時間の状況は、前回調査に比べ、「増加」とする企業が0.7 ㊦増加し、「減少」とする企業が0.9 ㊦減少したことから、D I は1.6 ㊦増加の△8.4 となった。

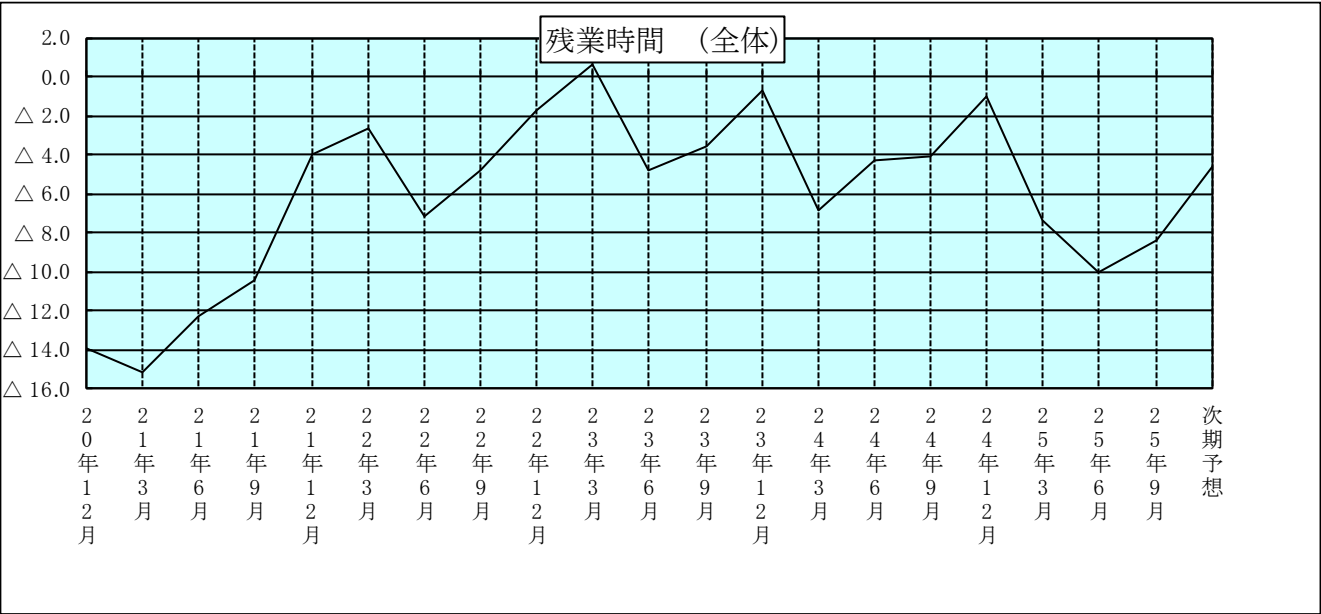
次回予想D I は、3.8 ㊦増加の△4.6 となる見通しである。

残 業 時 間 状 況 の 推 移

調査時点		変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A－C)
2024年	7～9月		4.5	86.9	8.6	△ 4.1
2024年	10～12月		6.3	86.4	7.3	△ 1.0
2025年	1～3月		5.6	81.4	13.0	△ 7.4
2025年	4～6月		2.9	84.2	12.9	△ 10.0
2025年	7～9月		3.6	84.4	12.0	△ 8.4
	前回調査比		0.7	0.2	△ 0.9	1.6
見通し	10～12月		4.8	85.8	9.4	△ 4.6
	今回調査比		1.2	1.4	△ 2.6	3.8

業種別残業時間状況(2025年7月～9月)

業 種		変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A－C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業			3.9	78.5	17.6	△ 13.7	△ 11.9	△ 5.8
卸 売 業			2.9	88.3	8.8	△ 5.9	△ 8.9	△ 2.9
小 売 業			2.2	83.2	14.6	△ 12.4	△ 13.6	△ 9.0
サ ー ビ ス 業			3.0	86.4	10.6	△ 7.6	△ 8.1	△ 6.1
建 設 業			5.4	90.5	4.1	1.3	△ 2.9	2.7
不 動 産 業			3.6	85.7	10.7	△ 7.1	△ 14.8	△ 3.5
全 体			3.6	84.4	12.0	△ 8.4	△ 10.0	△ 4.6



○人 手

人手の状況は、前回調査と比べ、「過剰」とする企業が 0.6 ㊦減少し、「不足」とする企業が 2.3 ㊦減少したことから、D I は全体で 1.7 ㊦増加の△16.7 となった。

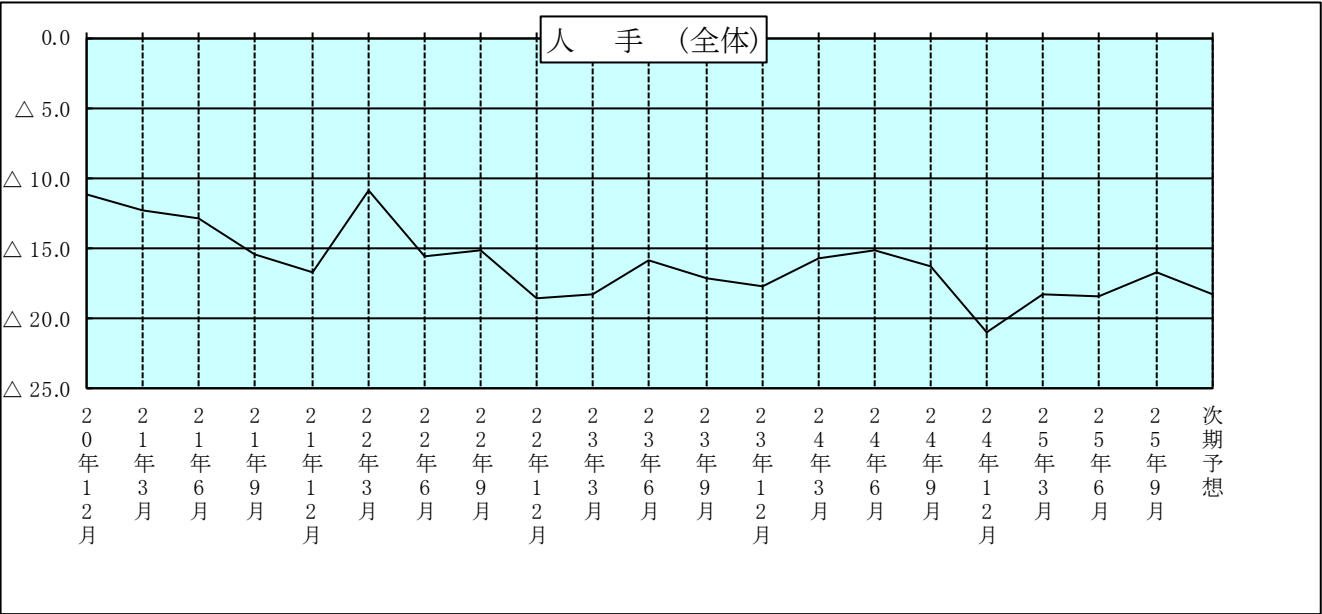
次回予想D I は、全体で 1.6 ㊦減少の△18.3 となる見通しである。

人 手 の 状 況 推 移

変 動		過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A－C)
調査時点					
2024年	7～9月	1.5	80.8	17.7	△ 16.2
2024年	10～12月	1.3	75.9	22.8	△ 21.5
2025年	1～3月	2.3	77.2	20.5	△ 18.2
2025年	4～6月	2.9	75.8	21.3	△ 18.4
2025年	7～9月	2.3	78.7	19.0	△ 16.7
	前回調査比	△ 0.6	2.9	△ 2.3	1.7
見通し	10～12月	2.0	77.7	20.3	△ 18.3
	今回調査比	△ 0.3	△ 1.0	1.3	△ 1.6

業種別人手状況(2025年7月～9月)

業 種	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A－C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		2.9	86.3	10.8	△ 7.9	△ 8.0	△ 9.8
卸 売 業		5.9	70.6	23.5	△ 17.6	△ 23.5	△ 23.5
小 売 業		0.0	84.6	15.4	△ 15.4	△ 17.0	△ 14.3
サ ー ビ ス 業		0.0	77.3	22.7	△ 22.7	△ 24.2	△ 25.8
建 設 業		4.1	68.9	27.0	△ 22.9	△ 27.5	△ 24.3
不 動 産 業		3.6	71.4	25.0	△ 21.4	△ 18.5	△ 21.4
全 体		2.3	78.7	19.0	△ 16.7	△ 18.4	△ 18.3



6. 経営上の 問題点・当面の重点経営施策

経営上の問題点では、全ての業種で「売上の停滞・減少」が1位、2位を占め、製造業で「原材料高」が2位、卸売業で「仕入先からの値上げ要請」が2位、小売業で「同業者間の競争の激化」が2位、サービス業で「人手不足」が1位、建設業で「材料価格の上昇」が1位、不動産業で「同業者間の競争の激化」が1位となった。

当面の重点経営施策では、多くの業種で「経費を節減する」と「販路を広げる」が1位と2位を占めたが、小売業、不動産業で「宣伝・広告を強化する」が2位となった。

経 営 上 の 問 題 点

(複数回答 単位:%)

業 種	1 位		2 位		3 位		4 位	
製 造 業	売上の停滞・減少	36.3	原材料高	24.5	同業者間の競争の激化	18.6	人件費の増加	15.7
卸 売 業	売上の停滞・減少	44.1	仕入先からの値上げ要請	26.5	人手不足	20.6	同業者間の競争の激化	17.6
小 売 業	売上の停滞・減少	45.7	同業者間の競争の激化	25.0	仕入先からの値上げ要請	21.7	利幅の縮小	17.4
サ ー ビ ス 業	人手不足	29.2	売上の停滞・減少	27.7	同業者間の競争の激化	26.2	材料価格の上昇	20.0
建 設 業	材料価格の上昇	43.2	売上の停滞・減少	35.1	人手不足 同業者間の競争の激化	25.7		
不 動 産 業	同業者間の競争の激化	53.6	売上の停滞・減少	32.1	利幅の縮小	25.0	商品物件の不足	21.4

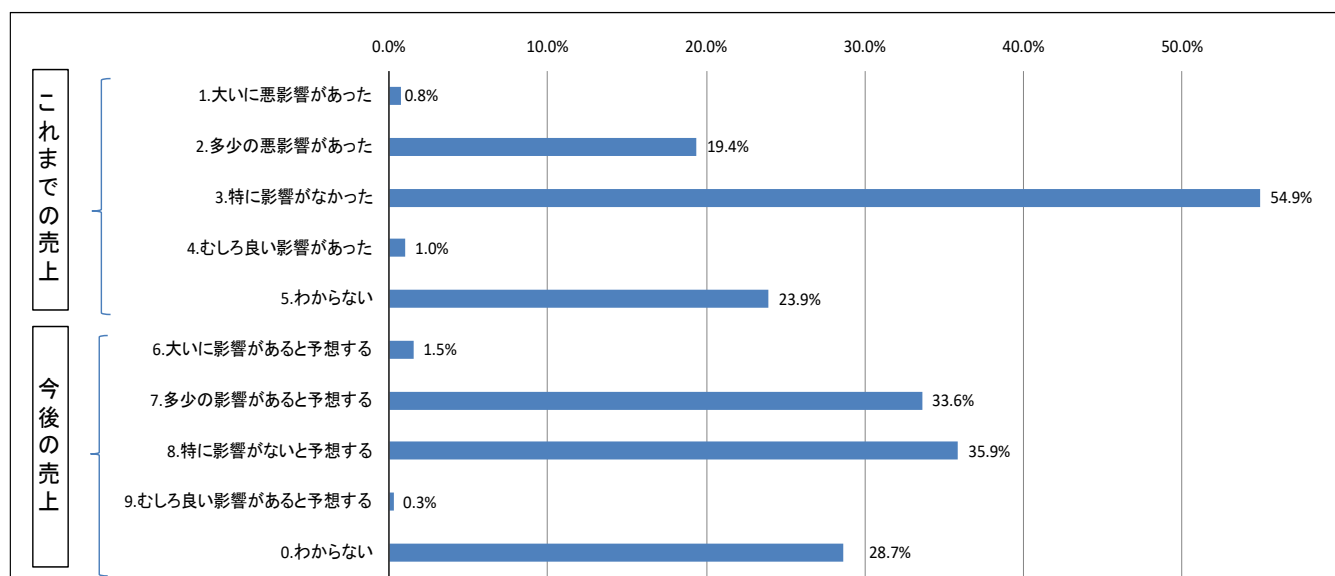
当 面 の 重 点 経 営 施 策

(複数回答 単位:%)

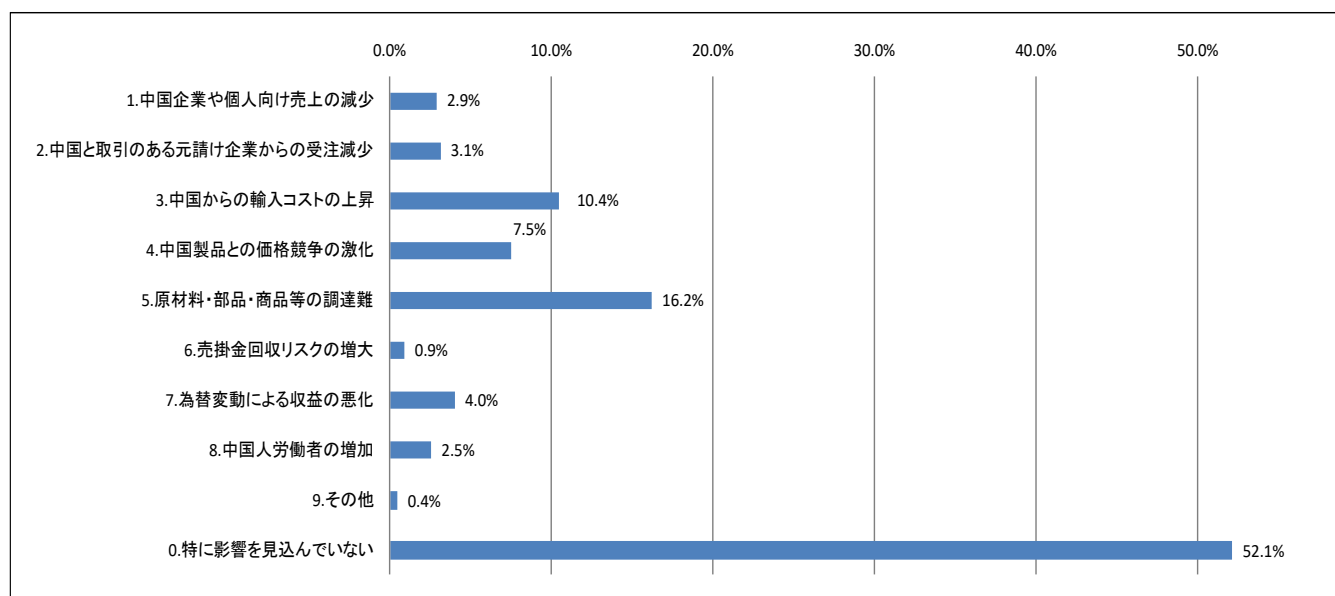
業 種	1 位		2 位		3 位		4 位	
製 造 業	経費を節減する	45.5	販路を広げる	39.6	新製品・技術を開発する	14.9	人材を確保する 特になし	12.9
卸 売 業	販路を広げる	47.1	経費を節減する	38.2	情報力を強化する	20.6	人材を確保する	17.6
小 売 業	経費を節減する	56.5	宣伝・広告を強化する	28.3	品揃えを改善する	22.8	人材を確保する	16.3
サ ー ビ ス 業	経費を節減する	37.9	販路を広げる	28.8	人材を確保する	27.3	宣伝・広告を強化する	22.7
建 設 業	販路を広げる	39.2	経費を節減する	35.1	人材を確保する	29.7	技術力を高める	27.0
不 動 産 業	販路を広げる	50.0	宣伝・広告を強化する	46.4	情報力を強化する	39.3	経費を節減する	32.1

不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営

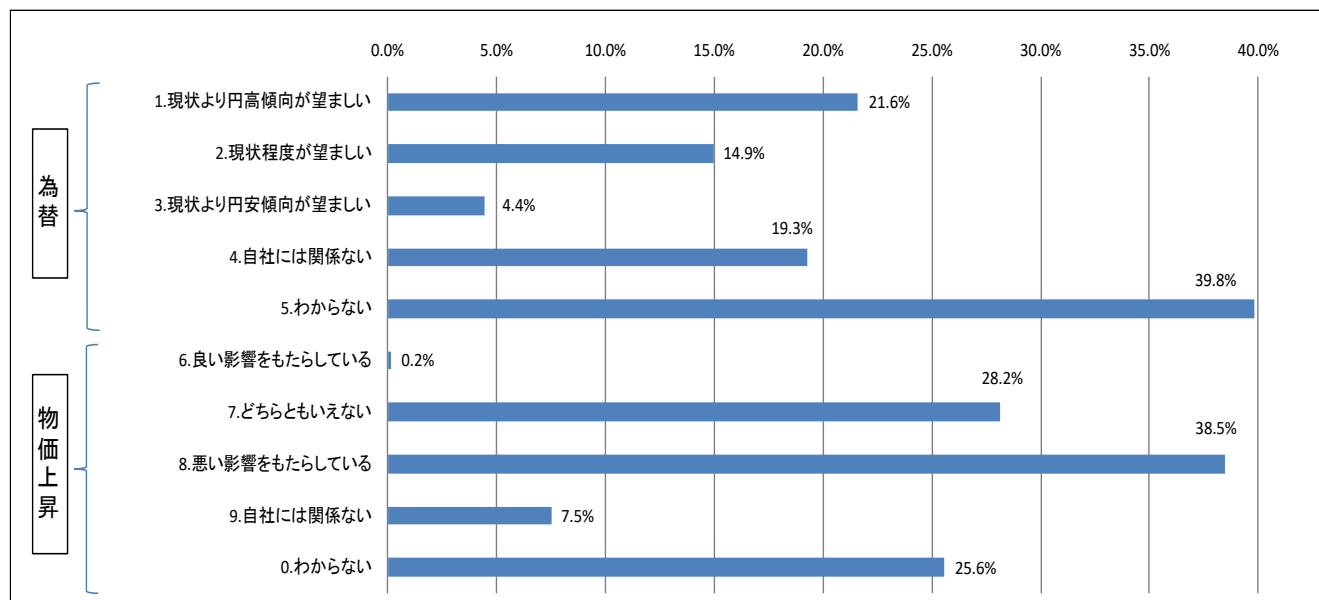
問 1. トランプ大統領就任後、米国の経済社会政策（関税等）には不透明感が増しています。こうした動きを受けて、貴社の売上にこれまで影響がありましたか。次の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、今後の売上に影響があると予想しますか。次の6～0の中から1つ選んでお答えください。



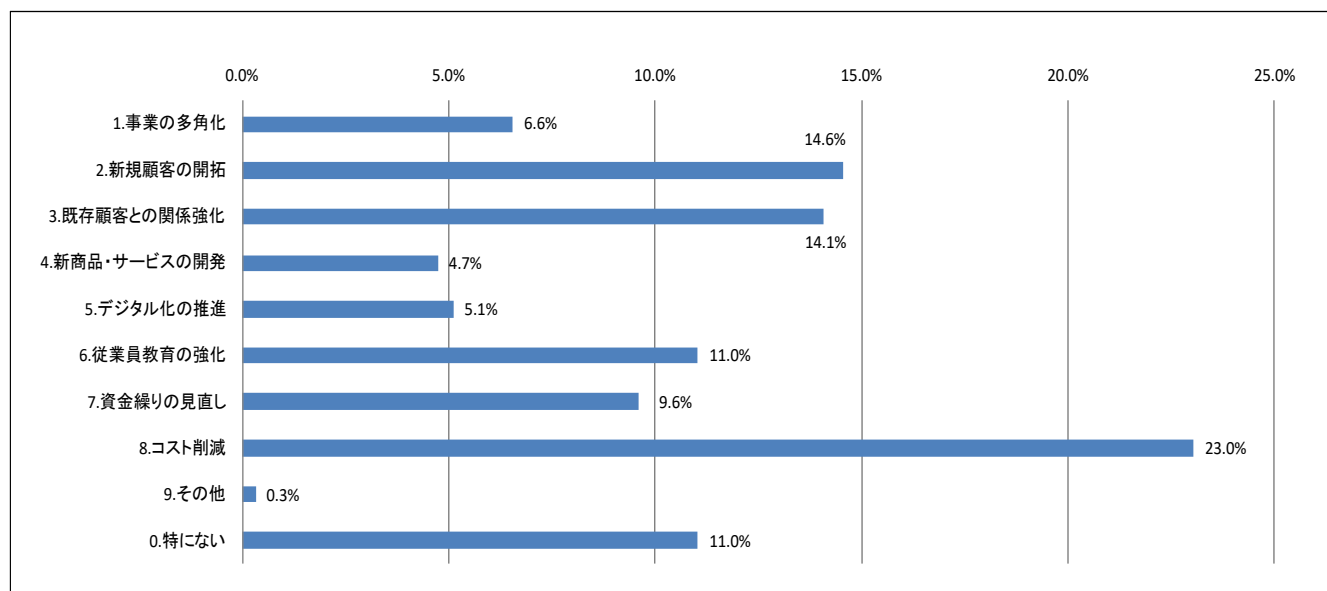
問 2. 中国経済の減速が懸念されていますが、貴社に対して間接的な事象も含めてどのような影響が見込まれますか。あてはまるものを次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。



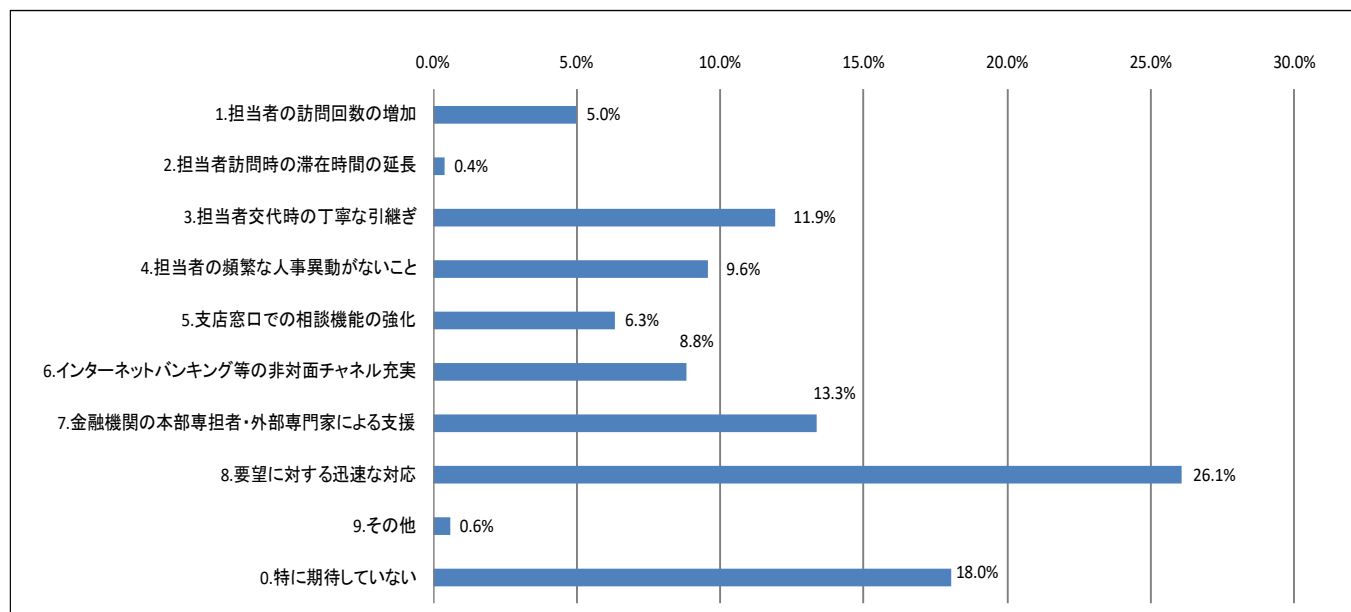
問 3. 今後の外国為替相場(主に円ドル相場)の貴社にとって望ましい水準について、次の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、コロナ禍以降の物価上昇傾向が貴社の経営にもたらす影響について、次の6～0の中から1つ選んでお答えください。



問 4. 不透明感が増す経済社会情勢を受けて、経営面で今後見直したい取組みはありますか。次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。



問 5. 不透明感が増す経済社会情勢を受けて、地域金融機関の体制面で望むことについて、次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。



不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営について

(景気動向調査の有効回答先から調査したものです)

1. トランプ大統領就任後、貴社の売上へのこれまでの影響については、「特に影響がなかった」が 54.9%と最も多く、「わからない」が 23.9%、「多少の影響があった」が 19.4%と続いた。
今後の売上への影響については、「特に影響がないと予想する」が 35.9%と最も多く、「多少の影響があると予想する」が 33.6%、「わからない」が 28.7%と続いた。
2. 中国経済減速が懸念されており、貴社に対して間接的な事象を含めてどのような影響が見込まれるかについては、「特に影響を見込んでいない」が 52.1%と最も多く、「原材料・部品・商品等の調達難」が 16.2%、「中国からの輸入コストの上昇」が 10.4%と続いた。
3. 今後の外国為替相場(主に円ドル相場)の貴社にとって望ましい水準については、「わからない」が 39.8%と最も多く、「現状より円高傾向が望ましい」が 21.6%、「自社には関係ない」が 19.3%と続いた。
物価上昇傾向が貴社の経営にもたらす影響については、「悪い影響をもたらしている」が 38.5%と最も多く、「どちらともいえない」が 28.2%、「わからない」が 25.6%と続いた。
4. 不透明感が増す経済社会情勢を受けて、経営面で今後見直したい取組みについては、「コスト削減」が 23.0%と最も多く、「新規顧客の開拓」が 14.6%、「既存顧客との関係強化」が 14.1%と続いた。
5. 不透明感が増す経済社会情勢を受けて、地域金融機関の体制面で望むことについては、「要望に対する迅速な対応」が 26.1%と最も多く、「特に期待していない」が 18.0%、「金融機関の本部専担者・外部専門家による支援」が 13.3%と続いた。